

(比嘉奈津美政務官)

皆様、長時間にわたるご議論をありがとうございました。そして緊急宣言を取りまとめてくださいましたこと、感謝申し上げます。座長であります土屋先生、本当にありがとうございます。このようなお話の中で、一番大事なものは地球温暖化防止であるということは間違いないということは皆様と共通認識の基にこの話は進んできたものだと思いますが、こういう知見をお持ちになっている皆様とともに、情報を共有してさらにどういう方向に向かっていくかということが今日話し合って進められたこと、非常に意義深く感じております。そしてまず、環境省といたしましては、既存の予算の拡充、新たな予算要求をしていきたいと考えております。そのうえで具体的には、少なくとも次の三点には緊急に着手したいと考えております。一点目はモニタリングの推進、及び優先的に保全をすべき地域の特定でございます。まずは昨年の大規模白化の被害状況の詳細を把握するために追加調査を実施するとともに、モニタリングサイト 1000 事業の強化や優先的な保全及び、地域特定等に向けた検討を行いたいと思います。二点目は、対策を支える保全技術の検討と人員の配置でございます。地域における適切な保全対策の実施に向けて将来の気候変動の影響も考慮した新たな保全技術の必要性や可能性について検討を進めてまいります。また、必要な人員配置ができるように要求して参りたいと思っております。三点目は国民にサンゴ礁の危機を知っていただくことでございます。シンポジウム等の開催により、多くの皆様にこの状況を知っていただき、サンゴ礁への負荷を減らす行動につなげるようなことを考えております。来年は国際サンゴ礁年でございます。地球温暖化対策の国民運動であるクールチョイスと国際サンゴ年 2018 が連携して気候変動によりサンゴの白化が起きていることを訴えてまいりたいと思っております。参加者の皆様におかれましても、ぜひとも、ご自身の立場からできる取組を進めていただきたいと思います。本日の会議をスタートラインとして、これから一団となってこのサンゴの白化対策に務めていただきたいと思います。そして、私個人、沖縄県の選出の国会議員としまして、やはり、この状況を打破するには、皆様のお知恵とともに、白化してしまったサンゴが地球の危機を伝えてくれているという思いで、サンゴを救うような動きで、頑張りたいと思っております。先ほど観光の話がありました。沖縄県、実は観光者数は 861 万人。その中のクルーズ船が、那覇港、平良港、石垣港を含めると全国一でございます。これから、まだまだ、私の選挙区の本部港であったり、中城湾港、クルーズ船の整備を務めてやっているところで、たくさんの観光客が訪れると思います。それから、今、環境省としては、国立公園満喫プロジェクトということで、観光の皆様、今まで爆買いの方が多かったんですね。それを体験型という方向で、自然を楽しみ、色々体験してもらおうという方向にシフトしていこうとしている中でですね、この自然を守りながら観光していただくというような周知も含めたツーリズムを環境省としても頑張っていきたいと思っております。皆さんのお知恵がなくてはサンゴを守れないものだと思います。最後までお力添えをよろしくお願い申し上げまして、今日の会合のことを心から感謝申し上げまして、環境省の宣言とさせていただきます。ありがとうございました。